



西川内 錢太鼓の奉納

平成14年10月27日

平成15年1月1日
第31号

発行所
阿蘇神社社務所
多良見町化屋名862
☎ 0957-43-5235

社報
あそみや

平成十五年の新春を言祝ぎ謹んで氏子崇敬者皆々様のご多样を祈念申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りましては、ようお願い申し上げます。

さて今年の干支は「癸未（みずのとひつじ）」。十二支の動物としては、羊が当てられています。羊は他の動物とは異なり、その性格も穏やかで、世界でも最も早くから家畜化された動物といわれます。特にアジア・ヨーロッパの牧畜民にとつては大切な食料でもあ

迎
春

阿蘇神社
宮司 大島 大明

り、また信仰的にも、神への供物として重要な動物とされていました。日本書紀によると、推古天皇七年（五十九年）九月に百濟より羊二頭の献上があつたと記されていますが、信仰的な関わりは特になかつたようです。

未の文字には「木が年を経て枝葉が茂る意」といわれます。平成十五年が「羊」の如く穏やかで、「未」の如く繁榮の年であることを祈念します。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培ひ、太平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、
神のみことともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむづび和らぎ、
國の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

平成十五年 節分祭豆撒き奉仕者募集!!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日(月曜)に行われます。多良見町の迎春行事として定着した阿蘇神社の節分祭には、町内外より多くの方が一年間の福を求めて参拝されるようになりました。

未(ひつじ)歳生まれの皆さん、豆撒き行事に是非ご参加下さい。

豆撒き行事に是非ご参加下さい。

豆撒き行事に是非ご参加下さい。

◎募 集 要 項◎

一、日 時

二月三日(月曜日)

豆撒きの時間

- 一回目 午後六時四十分
- 二回目 午後七時三十分
- 三回目 午後八時二十分

※集合時間は袴への着替えのため、いずれも四十分前となります。

二、募 集 人 員

各回 各回

七名 合計二十一名

男女は不問ですが、子供は七名中二名までです。

三、參 加 料

大人 八千円
子供 五千円
記念写真及び記念品を贈呈

今年の年男・年女(未歳)
平成十三年生、昭和五十四年生、昭和四十二年生、昭和三十年生、昭和十八年生、昭和六年生、大正八年生



特設舞台からの豆撒き

四、申込方法

住所・氏名・生年月日と希望する時間をお知らせ下さい。

株の数の都合で定員になり次第締め切りますので、お早めに

申込みをされますようお願ひします。

家族または友達と一緒に参加を希望される方は、その旨お知らせ願います。

分を指しますが、本来は春夏秋冬の四季の別れを節分といいます。阿蘇神社の節分行事は三つあり、①節分祭②火焼神事③豆撒き行事が行われます。

①節分祭 午後五時に社殿で神社総代他の参列のもと行われます。

氏子崇敬者の全てが恙なく春を迎えることを感謝し、一年間の開運招福を祈願します。

②火焼神事 旧年中の御神札・御守・破魔矢・熊手など神社より頒布された品々を焼き納めるお祭りで、境内に臨時の祭場を設けて行います。(午後九時まで)

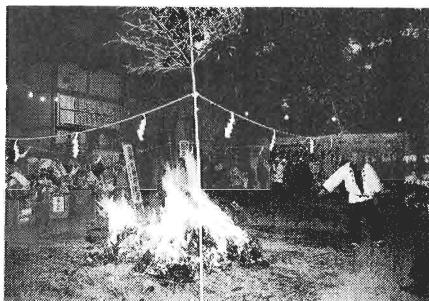
③豆撒き行事 境内の特設舞台から、袴を身に着け、お祓いを受けた年男(女)が、開運招福の福豆を撒くもので、総数三五〇〇袋の豆が撒かれます。(景品の引き替えは午後九時までです)

◇お願い ◇
○火焼神事(ほやきしんじ)は、午後五時三〇分から午後九時までです。遅れないようにお持ち下さい。

○豆撒き(豆撒き)は、午後九時までです。遅れないようにお持ち下さい。

○豆撒き(豆撒き)は、午後九時までです。遅れないようにお持ち下さい。

○人形(雛人形、武者人形など)は可ですが、ケースのガラスは自宅で処分して下さい。また、ぬいぐるみは不可ですので自宅で処分し下さい。



火焼神事

節 分 祭

初詣は阿蘇神社へ

一年の計は元旦にあり

ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい



◎一月一日午前〇時より新年の祈願を隨時受け付けます。

●初借パチんコ店の駐車場を格別に新規安全・商売繁昌交通安全・開運招福厄入・厄払・受験合格の節はご利用下さい。

●阿蘇神社裏のイーグルパチんコ店の駐車場を借用しております。

新年の祈願

平成15年 算賀表 (年齢は数え年)

厄入男41歳 昭和38年生
女33歳 昭和46年生
厄払男42歳 昭和37年生
女34歳 昭和45年生
その他の厄の年
男25歳 昭和54年生
女19歳 昭和60年生
◎その他、男女とも22歳、28歳、37歳、49歳、52歳、58歳が厄年とされています。

還暦 61歳 昭和18年生
古稀 70歳 昭和9年生
喜寿 77歳 昭和2年生
(昭和元年生)
米寿 88歳 大正5年生
◎その他、80歳を傘寿、90歳を卒寿、99歳を白寿、100歳を上寿といいます。

ご家族お揃いで是非ご参拝下さい

阿蘇神社の新嘗祭

十一月二十三日、新嘗祭が斎行され、五穀豊穣の感謝と諸産業の更なる発展が祈念されました。当社の新嘗祭は春に行われた田祈禱祭(田植え終了後の祭り)に対応する祭りとされ、当日は神前に、初穂・赤米・白米を始め、奉獻された品々が供えられました。

◇懸税(かけちから)

・宮中献穀田西海町奉賛会

・農協支所長 草野 榮

◇初穂赤米・白米

・長崎県神社庁西彼支部

・農協支所長 草野 榮

◇蜜柑 宮島茂吉

・多良見支店

◇キウイフルーツ 犬塚茂樹

・農協喜々津支所・親和銀

行多良見支店・たちばな信用金庫

◇初穂料 (有)森商会、農協喜々津

支所長、阿蘇神社奉納相撲実行委員会、かこい組(株)、松尾興一郎、

田中義明、森 強、富永喜志雄、

石丸隆男、森憲一郎、大黒 貴、

多良見町長、北島守幸、山口安博、

松本 淳、松尾典子、荒木 隆、

本島光行、溝上一盛、関山一郎

《順不同・敬称略》

第11回 新年の運だめし Cross Word Puzzle

一年間の運だめしです。ハガキに①答え、②住所、③氏名、④電話番号を書いてお送り下さい。正解者には阿蘇神社オリジナル記念品を10名(正解者多数の場合は抽選)に贈呈します。締め切りは2月3日午後3時必着(ハガキは持参しても可)。

送り先 〒859-0401 西彼杵郡多良見町化屋名862 阿蘇神社パズル係

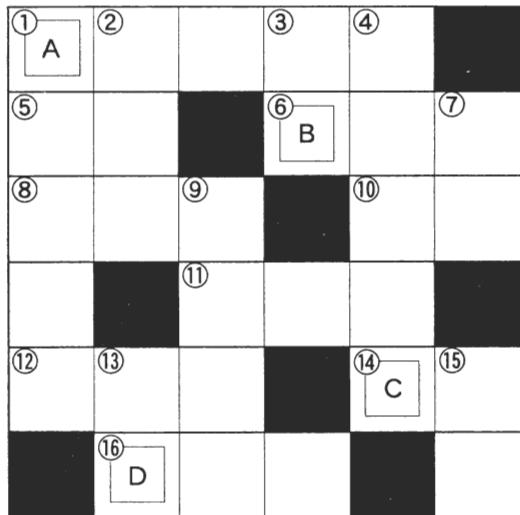
(正解者多数の場合、抽選は2月3日節分の第1回豆撒き終了後に行います)

《タテのかぎ》

- ①♪ゆうやけこやけの～♪
- ②洋風の昼食。
- ③赤い実が美味しい。
- ④キャンプ場にあれば最高です。
- ⑤手○○、足○○。
- ⑨近代オリンピックが発祥しました。
- ⑬夏もいいが、冬も好きです。
- ⑯これが不十分だと仕上がりが良くない。

《ヨコのかぎ》

- ①本当にきれい好きですか？
- ⑤昔の子どもはこれを蹴って遊びました。
- ⑥牛乳ですか？
- ⑧県庁の所在地は宇都宮市です。
- ⑩和服の必需品。
- ⑪本場は青森です。
- ⑫家の中では不要です。
- ⑭刃物を作るとき、刃を熱して水にいれ、急に冷やしてかたくすること。
- ⑯おもむきがあり、上品で美しいこと。



◎ A～Dの文字を並べかえて下さい。
ヒント:意外な結果。番くるわせ。

◆総代会よりのお知らせ◆
昨年秋に第一鳥居横の玉垣改修、
社務所外壁の塗り替え工事を行い
ました。

一、参道石段への手摺設置
かこい組(株) 池田忠憲 殿
一、拝殿社名額修理 篤志家 殿
社名額は金箔が剥げていました
が、立派になりました。また毎月
境内を清掃されます誠会の皆様方
にもお礼を申し上げます。

◎祭典にはどなたでも参列できます。
ご家族お揃いでご参拝下さい。

十一月三十一日午後四時	大祓式	阿蘇神社	宮司	大島 大明
午後十一時	除夜祭	責任役員	会長	上原 国雄
一日午前一時	歳旦祭	"	"	高松 幸男
三日午前九時	元始祭	総代	副会長	森 繁由
二月 一日	節分祭	中尾 勝之	木下 保	森 喜志雄
三日午後五時	豆撒行事	高永 壽一郎	富永 壽一郎	高永 壽一郎
二月 十一日午前九時	紀元祭	前田 泰政	中路 武旺	森 喜志雄
都山流尺八愛好会による尺 八の奉納演奏があります。	引き続き 火焼神事	監事(評議員)	後記	総代

◆神社行事予定◆

謹賀新年

◎大駐車場完備(阿蘇神社裏)
イーグルパチンコ
利用下さい
神社参拝の駐車場としてもご